

危険物規制の概況

1 危険物施設

(1) 危険物施設数（第4-1表）

平成31年3月31日現在における県内の危険物施設数は、製造所209施設、貯蔵所5,512施設、取扱所2,336施設で、総数は8,057施設となっている。前年度と比較した場合、製造所は5施設増加、貯蔵所で24施設増加、取扱所で9施設減少し、総数で20施設の増加となった。

危険物施設の区分別内訳については、貯蔵所が総数の68.4%を占めており、その中では屋外タンク貯蔵所が最も多い。次に、取扱所は総数の29.0%を占めており、その中では一般取扱所が最も多い。なお、製造所は総数の2.6%となっている。

一方、全国の危険物施設数は、平成30年3月31日現在、総数が405,238施設で、その内訳は、製造所5,093施設、貯蔵所276,879施設、取扱所123,266施設となっている。

(2) 危険物施設数の規模別構成（第4-2表）

平成31年3月31日現在における県内の危険物施設を、その貯蔵し又は取り扱う危険物の数量により区分すると、指定数量の50倍以下の規模のものが全体の61.6%を占め、中でも5倍以下の規模のものが全体の24.5%を占めている。

(3) 危険物取扱者（第4-3表、第4-4表）

県内における危険物取扱者免状の交付状況及び危険物取扱者保安講習の受講状況は、第4-3表、第4-4表のとおりである。

2 危険物に係る事故（第4-5表、第4-6表）

平成30年中の県内での危険物に係る事故は、前年の21件から2件減少し、19件発生した。

事故の内訳は、火災6件、漏えい10件、その他3件となっており、火災は6件減、漏えいは3件増、その他は1件増となった。

第4-1表 危険物製造所等の推移(完成検査済証交付施設)

平成31年3月31日現在

危険物製造所等の別	合計	製造所	貯蔵所									取扱所					
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	
平成20年	8,990	202	6,053	996	2,649	105	949	13	987	354	2,735	1,122	18	7	77	1,511	
平成21年	8,865	204	5,982	985	2,653	105	925	12	946	356	2,679	1,083	17	7	77	1,495	
平成22年	8,747	201	5,913	971	2,630	97	901	13	938	363	2,633	1,053	14	7	75	1,484	
平成23年	8,658	205	5,869	966	2,597	94	892	13	946	361	2,584	1,030	14	7	73	1,460	
平成24年	8,445	204	5,737	938	2,557	93	829	13	948	359	2,504	1,000	13	7	74	1,410	
平成25年	8,385	204	5,704	936	2,530	94	825	13	958	348	2,477	991	13	7	73	1,393	
平成26年	8,286	199	5,647	936	2,511	91	808	13	948	340	2,440	969	13	7	74	1,377	
平成27年	8,189	201	5,591	928	2,492	90	781	13	952	335	2,397	950	12	7	73	1,355	
平成28年	8,117	203	5,537	926	2,480	86	770	12	936	327	2,377	934	12	7	72	1,352	
平成29年	8,037	204	5,488	914	2,474	85	754	12	925	324	2,345	916	10	7	71	1,341	
平成30年	8,057	209	5,512	922	2,486	82	741	13	928	340	2,336	897	10	7	72	1,350	
宇部・山陽小野田	1,557	71	1,066	205	524	7	105		185	40	420	110	3	1	4	302	
周南市	2,138	74	1,589	175	908	4	62	6	260	174	475	89		1	49	336	
防府市	539	10	332	89	126	7	55		45	10	197	63			3	131	
下松市	332	3	242	44	45	2	17		126	8	87	44			1	42	
下関市	760	3	493	134	137	28	85	1	72	36	264	134	1	5	2	122	
岩国地区	983	28	726	65	426	6	90	3	114	22	229	83	4		13	129	
柳井地区	353	14	211	35	79	7	59		24	7	128	65	1			62	
光地区	291	3	171	45	57	2	30	1	22	14	117	46				71	
長門市	185		117	22	42	2	29		20	2	68	46				22	
美祿市	255	3	157	25	69	3	28		20	12	95	43				52	
山口市	437		255	50	36	4	129		24	12	182	125				57	
萩市	227		153	33	37	10	52	2	16	3	74	49	1			24	

第4-2表 数量別危険物製造所等の数(完成検査済証交付施設)

平成31年3月31日現在

危険物製造所等の別	県計	製造所	貯蔵所								取扱所					
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
県計	8,057	209	5,512	922	2,486	82	741	13	928	340	2,336	897	10	7	72	1,350
5倍以下	1,971	12	1,503	363	196	46	440	13	373	72	456	77	2	0	0	377
5倍を超え10倍以下	1,165	17	780	220	197	21	154	0	65	123	368	109	3	0	0	256
10倍を超え50倍以下	1,827	34	1,192	174	640	15	122	0	134	107	601	256	5	7	0	333
50倍を超え100倍以下	799	24	559	48	276	0	13	0	211	11	216	88	0	0	1	127
100倍を超え150倍以下	387	12	276	28	127	0	5	0	107	9	99	70	0	0	2	27
150倍を超え200倍以下	249	7	110	33	59	0	5	0	1	12	132	95	0	0	0	37
200倍を超え1,000倍以下	793	45	421	24	354	0	2	0	37	4	327	202	0	0	14	111
1,000倍を超え5,000倍以下	393	30	301	24	275	0	0	0	0	2	62	0	0	0	15	47
5,000倍を超え10,000倍以下	156	13	124	6	118	0	0	0	0	0	19	0	0	0	10	9
10,000倍を超えるもの	317	15	246	2	244	0	0	0	0	0	56	0	0	0	30	26

第4-3表 危険物取扱者免状交付状況(新規分)

区分	合計	甲種	乙種							丙種
			小計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	
20年度	5,729	188	5,199	592	559	454	2,394	522	678	342
21年度	5,500	184	5,081	615	567	479	2,053	549	818	235
22年度	5,272	198	4,884	636	473	471	2,156	577	571	190
23年度	5,174	166	4,827	601	508	441	2,128	475	674	181
24年度	5,622	190	5,186	681	534	462	2,251	543	715	246
25年度	4,972	191	4,615	618	466	427	1,941	526	637	166
26年度	4,542	179	4,200	547	443	431	1,740	478	561	163
27年度	4,441	154	4,147	492	430	376	1,760	482	607	140
28年度	3,926	159	3,638	483	375	355	1,609	401	415	129
29年度	4,409	197	4,067	517	377	359	1,939	366	509	145
30年度	5,186	189	4,889	694	463	375	2,240	451	666	108

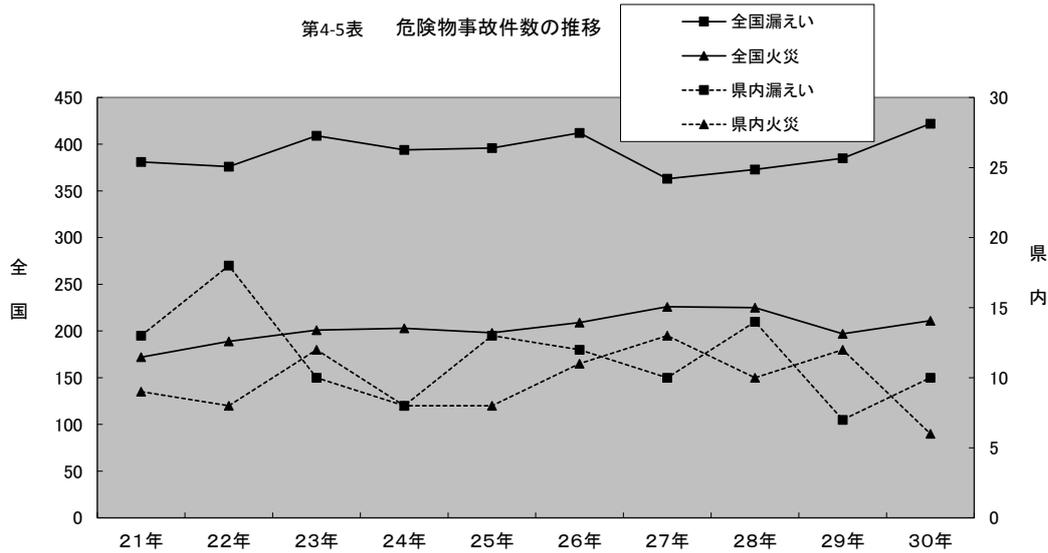
第4-4表 危険物取扱者保安講習の実施状況

区分	受講者数				会場数
	合計	給油取扱所	石油コンビナート	その他	
20年度	5,954	1,520	2,446	1,988	57
21年度	5,592	1,402	2,332	1,858	57
22年度	5,396	1,426	2,156	1,814	51
23年度	5,717	1,451	2,361	1,905	57
24年度	5,410	1,341	2,259	1,810	55
25年度	5,467	1,396	2,248	1,823	51
26年度	5,599	1,382	2,415	1,802	57
27年度	5,405	1,319	2,288	1,798	54
28年度	5,279	1,279	2,069	1,931	51
29年度	5,518	1,369	2,321	1,828	57
30年度	5,496	1,283	2,247	1,966	54

(30年度)

	合計	給油取扱所	石油コンビナート	その他
回数	54	17	18	19

第4-5表 危険物事故件数の推移



第4-6表 平成30年中の危険物施設等の事故概要

No.	発生日	発生場所	事故種別	製造所等の別	危険物の品名	事故の概要
1 ※石	1月8日 4時20分 (0H27m)	岩国市	火災	一般取扱所		一般取扱所(ボイラー)において、定常運転中に排ガスNOx濃度下限警報が発報したため、運転員が現場に燃焼状態の確認に行ったところ、施設の3階の燃焼空気ダクトより火の粉が出ているのを発見、直ちに施設の緊急停止を行ったことにより、燃焼空気ダクトからの炎の噴出はなくなったもの。隣接施設への拡大の危険はなく、負傷者はなかったもの。
2 ※石	1月11日 7時49分 (0H44m)	山陽 小野田市	流出	一般取扱所	硫黄	積荷準備を終え、硫黄をタンクローリーへ積荷開始しようとしたところ、ドロップパイプと配管との接続部がずれ溶融した硫黄が、約50キログラム漏えいしたもの。
3	1月12日	山口市	流出	給油取扱所	軽油	給油取扱所関係者が軽油タンクの在庫管理について、計算上の残量と液面計の読取値とを精査したところ、漏えいが疑われる状態であることに気が付き、業者による点検を依頼した。翌日に点検が実施され、その結果、地下埋設配管からの漏えいが判明したもの。 なお、同年2月頃から数回にわたって、付近の河川等に油が流れている旨の通報があったもの。油吸着マットによる回収及びオイルフェンス展張等の措置をとっていたが、流出元が特定できず継続調査を行っていたもの。6日14時50分頃、通報場所付近を調査中、当該給油取扱所にて地下タンクの点検が行われている状況を確認し、漏えいが疑われるとの情報を得た。同日17時40分、点検の結果、配管の異常が判明した旨の報告を受け、確知したもの。
4	2月27日	山陽 小野田市	流出	一般取扱所	A重油	許可品名第4類第2石油類「灯油」2KLの移動タンク貯蔵所に、無許可の第4類第3石油類「A重油」2KLを充填中に、その場を離れたため、移動タンク貯蔵所上部注入口からA重油約300L漏えいした。
5	3月6日	萩市	流出	地下タンク貯蔵所	軽油	地下タンク貯蔵所の埋設配管近くで掘削作業を行っていたパワーショベルが、配管を破損させ、危険物(軽油)約50リットルを流出させたもの。事故後配管の元バルブを締め、破損箇所は補修テープを巻いて応急措置を行い、流出した危険物(軽油)はウエス等で回収する。

No.	発生日	発生場所	事故種別	製造所等の別	危険物の品名	事故の概要
6 ※ 石	5月15日	和木町	流出	一般取扱所	キシレン	ローリー充てん場において、移動タンク貯蔵所へキシレンを積み込みする際、吐出口を閉め忘れたためにキシレン27リットルが流出した。なお、吸着マットを使用して回収、施設外への流出なし。
7	5月26日	山陽 小野田市	流出	一般取扱所	クロロベンゼン	当該工場で生成されたクロロベンゼン(第4類第2石油類非水溶性)を屋外タンク貯蔵所(S-608)へ送油していたところ、送油ラインのサンプリングノズルが3分の1開いた状態であったため、クロロベンゼンが約200L漏洩した。流失した危険物は、当該施設の床及び排水溝へ流れたが、土嚢でせき止めため施設内に留まったもの。
8	6月11日	下関市	火災	一般取扱所		タイヤ成型工程内のホットカット装置から出火
9 ※ 石	6月21日	和木町	火災	製造所		一般取扱所において、定期修理工事中、ベントガスブロウのケーシング部の腐食箇所にて板補修を行ったところ、ベントガスブロウの出口側配管内部に付着していた物質が溶接の熱により燃焼したものの。
10 ※ 石	6月27日	宇部市	火災	一般取扱所		スタートアップ時に保温材で覆われた熱媒配管からにじみが認められたため、保温材を取り除いて確認したところ、漏れが認められたためバルブを閉めて熱媒を抜き取った。3時にこの抜き取り作業を完了し計器室に戻っていたところ、監視カメラで炎が上がったのを確認し、同時に自動火災報知設備が鳴動したため消火器5本を用いて従業員が消火活動を実施し火災は鎮火した。
11	7月5日	防府市	破損	給油取扱所		給油取扱所において、大型トラック(25トン超)が、洗車を終えバックで計量器まで移動していた際に、計量器に気づかず衝突した。事故後、従業員が動作確認をしたところ、直ちに計量器を停止させ消防へ通報した。計量器に接触した大型トラックの後部バンパーに破損はなく、計量器の、地上から約70センチのところに、変形が見られた。なお、計量器配管及び周辺に漏油は見られなかった。
12 ※ 石	7月15日	和木町	流出	屋外タンク貯蔵所	硫黄	屋外タンク貯蔵所付帯のポンプミニマムフローライン調整弁の上流ブロック弁から液体硫黄が流出したものであり、発見後直ちにバルブを閉止し漏えいは停止、流出はポンプヤードダイク内で施設外への流出は無かった。
13 ※ 石	7月16日	岩国市	流出	屋内貯蔵所	ヘキサン	屋内貯蔵所内において廃液ドラム缶の腐食開孔部から廃液が漏えいしたものであり、施設外への流出はなし。
14	7月19日	山陽 小野田市	火災	一般取扱所		使用前のウエスがに入ったポリ容器内部から出火し、通りかかった従業員が粉末消火器を使用して消火したものの。
15 ※ 石	10月24日	岩国市	火災	一般取扱所		一般取扱所において、反応缶の洗浄後に洗浄液を送液中にボトム弁のフランジ部からベーパーが発生し、出火したものの。
16	11月16日	周南市	流出	移動タンク貯蔵所	軽油	移動タンク貯蔵所から屋外タンク貯蔵所への軽油の荷下ろし中に、移動タンク貯蔵所付属のヘッドバルブを排出側に回したつもりが誤って吸入側に回したことにより、可燃性蒸気回収配管を通じて流出したものの。
17 ※ 石	12月1日	周南市	流出	製造所	ポリエーテルポリオール	ポリエーテル製造過程において、塩酸による中和作業中に反応器ボトム部分の配管フランジよりポリエーテルポリオールが約700リットル漏えいした。発見後は隣接タンクに移液を行うとともに水張洗浄を行ったものの。

No.	発生日	発生場所	事故種別	製造所等の別	危険物の品名	事故の概要
18 ※ 石	12月15日	宇部市	破損	製造所		循環ガスコンプレッサーのモーターの軸が何らかの原因で破損し、破損した部品が飛散して、近くの20号タンク149KL(内容物～シクロヘキサン：第4類第2石油類非水溶性)の側板を貫通(約10×30cm)したものの。
19	12月29日	下関市	破損	給油取扱所		給油中に顧客が車両を発進させたため、固定給油設備が破損したものの。